



小枝繁昭《Still Life on the Table #11》

1991(平成3)年 シルクスクリーン・アクリル絵具・紙 118.7×177.7cm(北海道立近代美術館蔵)

画面中央に描かれたテーブルの上には、ポットや洋書、トマトジュースの缶、スプーン、果物が整然と配されている。一目見てわかるように、本作はモチーフを撮影するだけでなく、アクリル絵具による描画という異なる表現も併存させているのだ。

小枝繁昭(1953-)は、1980年代よりはじめたシルクスクリーンによる大型版画シリーズで注目される。題名の「Still Life」は静物画を意味し、古来、食べ物も多く描かれてきた。時代によってモチーフのもつ意味は変遷してきたが、小枝の連作では、時に被写体として配され、時に絵筆でなぞられるなど、その時々によって表情を変える思い入れの強い品として登場する。技法に目を移すと、本シリーズでは、モチーフとレンズの間にガラス板を立て、透けて見える

ものの一部をアクリル絵具で描いた後、撮影してフィルムを作成。制作過程を含めた12枚ものフィルムを組み合わせ、シルクスクリーンの版を作り、刷り上げる。それは「レンズを通して見る世界」と、「自分の目で見る世界」を同一画面上に混在させる手法を探索した小枝の成果である。幾重もの目を通して見た世界がこうして再現されているのだ。

本作は、当館で開催する「ヴィジュアル・ガストロノミー」展(9/19~11/8)に出品される。本展では、食を題材にしたさまざまな美術作品を展覧。この機会に、写真・絵画・版画の間を往来する小枝渾身の静物画をじっくりと見て、味わっていただきたい。

(北海道立近代美術館 学芸員 田村允英)

美術館から、ひとこと

コロナ禍の影響でアルテピア77号は大幅に内容を変更しました。
「MUSEUM INFORMATION」も各館美術館からの「ひとこと」としてお届けします。ご一読ください。

近代美術館

諸星大二郎展

クリエイターから異分野の研究者まで、あらゆる方面から絶大な支持を誇る漫画家・諸星大二郎(1949生まれ)。民俗学、考古学、人類学的な考察とスケールの大きな作風で、幅広いジャンルに渡って独自の世界を築き上げている。本展では、『暗黒神話』(1976)、『妖怪ハンター』シリーズ(1974～)、『西遊妖猿伝』(1983～)など代表作の原画に加え、作品世界と関わり合いの強い美術作品や歴史・民俗資料などもあわせて展示。読む者を「異界」へと導く魅力の原点に迫ります。

三岸好太郎美術館

アートギャラリー北海道

「mima-no-me #みまのめ(VOL.6)」

2020年9月11日(金)～11月29日(日)

「みまのめ」は、アートギャラリー北海道事業の一環として、北海道ゆかりの優れた若手作家を紹介するシリーズ企画です。クレヨンで空想的な世界を生む高橋あおばさん、幾重にも重ねた木版画によって心象風景を刷り出す平野有花さん、写真と刺繍糸を用いて詩情を表現する桑迫伽奈さん、なだらかな曲線を用いた鉄作品で柔らかさ、ぬくもりをテーマとする吉成翔子さんをご紹介します。

旭川美術館

「北の水彩」展

2020年9月12日～11月1日

水彩画は、画材の親しみやすさや手軽さもより広く愛され普及している絵画です。明治30年代後半から全国的に流行し、北海道でも、よく目にされるようになりました。昭和初期には、水彩画の革新をめざす動きが起こり、北海道の水彩画も活気を帯びました。この頃、水彩画を始めた佐藤進は、昭和の北海道水彩画壇を代表する一人となった旭川の作家です。

本展では、明治から現代まで、水彩画の魅力を北海道の歴史や美術の流れとあわせて紹介します。

函館美術館

リサ・ラーソン展

創作と出会いをめぐる旅

リサ・ラーソン(1931年生)はスウェーデンを代表する陶芸家のひとりです。動物モチーフを中心に、素朴で温かみのある作品で多くの人に愛されています。本展では、初期から近年の代表的な作品約200点と合わせ、リサ・ラーソンに影響を与えた作家たちの作品も約20点をご紹介します。

本展の後に続く、当館所蔵作品による特別展「色もよう心もよう」(12/5～2021/1/31)、「海と山との対話」(2/6～3/31)もお楽しみに。

帯広美術館

池田緑展

2020年12月19日(土)～2021年3月21日(日)

十勝在住の現代アート作家・池田緑の作品をご紹介します。彼女の作品には、プラスチックテープを素材としたものや環境問題へのアプローチでもあるマスクプロジェクト、青春のシンボルとしてのジーンズをテーマにしたもの、ブック・アートなど言葉にまつわるもの、映像作品などがあります。素材やテーマを変えながらも「時間」や「言葉」と向き合い、一貫して自身の歩みや自身を取り巻く環境を作品化しています。

釧路芸芸館

紡ぐ心と暮らし

ビーズのはなやぎ・刺繍の美

～北海道立北方民族博物館コレクション

2020年10月31日(土)～2021年1月20日(水)

細やかな刺繍や彩りゆたかなビーズ装飾には、いずれも小さなエレメントが連なって全体をなすという特色があります。ひとすじの意思から紡ぎだされる美のありようと、人々の暮らしや生き方との関わりを、網走市にある北海道立北方民族博物館のコレクションによりご覧いただければ幸いです。

札幌芸術の森美術館

北海道・札幌の「夜の時間」をめぐる展覧会 札幌美術展 アフターダーク

当館では、2021年2月27日(土)から4月11日(日)にかけて「札幌美術展 アフターダーク」を開催します。本展では、北海道・札幌における「夜の時間」を共通テーマとし、そこから派生する思想や文化に光を当てながら、北海道・札幌ゆかりの多彩なジャンルの現代美術家11組の作品を紹介します。

【出品作家】(敬称略、五十音順) 大黒淳一、大橋英児、川上勉、経塚真代、齋藤由貴、手島圭三郎、藤倉翼、フジ森(藤木淳、藤木寛子)、藤原千也、本田征爾、松浦シオリ

本郷新記念札幌彫刻美術館

没後40年記念展

本郷新・全部展①、②を開催

札幌生まれの彫刻家、本郷新の知られざる様々な面に迫るシリーズ展。第一弾の全部展①では、当館に多数収蔵される本郷の素描、油彩、版画作品を、本館を会場に公開し、作家が平面作品に向けた情熱を紹介します。同時オープンの全部展②は、隣接する記念館で展開。若かりし頃のブロンズ彫刻と石膏原型を中心に、本郷芸術の揺籃期に焦点をあてます。ロダンや高村光太郎からの影響下にある時期から、独自の作風を確立するまでをたどります。

MUSEUM CALENDAR 2020.9~2021.3

□ は特別展示室 □ は常設展示室
濃色はアートギャラリー北海道

美術館のおもな展覧会ご案内

	9	10	11	12	1	2	3
近代美術館	9/19(土)~11/8(日) 没後50年 神田日勝 大地への筆触 ここで描く、ここで生きる	7/4(土)~11/8(日) (2階) 太陽の森 テイマシオ美術館コレクション 9/19(土)~11/8(日) (1階) ヴィジュアル・ガストロノミーいただきます。ごちそうさま。 (2階) この1点を見てほしい。	11/21(土)~1/17(日) デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉	11/21(土)~2/14(日) (1、2階) 日本の美 (2階) この1点を見てほしい。			2/27(土)~4/4(日) 藤沢市所蔵 招き猫コレクション 猫まみれ展 MAX 2/27(土)~3/31(水) (1階) 池田良二展 一原有徳展 (2階) ふれるかたち この1点を見てほしい。
三岸好太郎美術館	9/11(金)~11/29(日) ロマンティストの札幌 - 好太郎の原点 9/11(金)~11/29(日) mima-no-me #みまのめ <VOL.6>				12/19(土)~4/11(日) エキゾチック・イメージ - 上海から道化へ		
旭川美術館	9/12(土)~11/1(日) 北の水彩 9/12(土)~11/1(日) 旭美・この一点 - 黒田辰秋《神代樺彫文飾棚》		11/2(月)~1/8(金) メンテナンス休館		1/9(土)~3/31(水) 「木」と「あそび」美術館 1/9(土)~3/31(水) 荒井義則展 無意識が世界を版にする		
函館美術館	8/31(月)~10/2(金) 施設改修工事のため 全館休館	10/3(土)~11/29(日) リサ・ラーソン展 創作と出会いをめぐる旅		12/5(土)~1/31(日) 色もよう心もよう		2/6(土)~3/31(水) 海と山との対話 2/6(土)~3/31(水) ミュージアム・コレクション冬~春 アートの「キラキラ」 鷗亭と白萩	
帯広美術館	9/19(土)~12/6(日) 蛸川実花展 - 虚構と現実の間に - 9/19(土)~12/6(日) 旅立ち - 作家たちの青春				12/19(土)~3/21(日) 池田 緑 展 12/19(土)~3/21(日) イメージネーション - 日常の彼方に		
釧路芸術館	7/18(土)~10/11(日) 記憶を結び、共生の未来をイメージする。 没後20年 毛綱毅暁の建築脳 8/29(土)~9/27(日) 大漁旗展 つたえる、いろどる		10/31(土)~1/20(水) 結ぐ心と暮らし ビーズのはなやぎ・刺繍の美 ~北海道立北方民族博物館コレクション			2/6(土)~4月上旬 所蔵品展 2/6(土)~4月上旬 木島誠悟・絵本のひみつ	
札幌芸術の森美術館		9/12(土)~11/3(火・祝) ムーミン展 THE ART AND THE STORY				2/27(土)~4/11(日) 札幌美術展 アフターダーク	
札幌本郷新記念美術館	7/23(木・祝)~9/27(日) 舟越桂展 ~言葉の森~ 4/29(水・祝)~9/27(日) 本郷新のレガシー 【五輪大橋と花束】	10/3(土)~12/6(日) 没後40年記念展 本郷新・全部展①		10/3(土)~4/22(木) 没後40年記念展 本郷新・全部展②			

○開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

※芸術の森9:45~17:00(6月から8月は17:30まで) ※札幌彫刻美術館10:00~17:00(入館は16:30まで)

○休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日のときは開館、翌火曜日休館) ●年末年始(12/29~1/3) ●展示替え期間(展覧会と展覧会の間)

※施設により臨時休館、臨時開館の場合もありますので、各施設のホームページでご確認いただくか施設にご確認願います。

※会員証の利用について 貸館の観覧は会員証が利用できない場合がありますので、ご了承ください。

※[アートギャラリー北海道]は、道内の美術館がネットワークでつながり、双方向でアートを紹介・発信することにより、北海道全体がアートの舞台となることを目指す取り組みです。

編集だより

■コロナ禍の影響でボランティア活動も自粛となり、77号発行についても危ぶまれました。しかし検討を重ねた結果、内容を厳選して発行することになりました。会員の皆様には、物足りなさもあるかと思いますが、お許しください。(A)

令和2年度定時総会の報告

去る7月28日、近代美術館講堂において定時総会が開催されました。

冒頭、吉野会長から、「コロナ禍の中、美術館が約3ヶ月休館する状況となり、協力会の活動も制限されていたが、定時より1ヶ月遅れて、総会が本日実施の運びとなった一方、例年実施の集いは諸般の状況から中止とすることとした。昨年度事業は、ほぼ予定どおり実施できたが、今年度の活動は、コロナの状況にもよるが、厳しい見通しであり、美術館や美術業界も大変な状況と推察する。このような時こそ、理事はもとより会員の皆様が一体となり全力をあげていかなければならないと思います。」との強い決意表明となりました。

議案審議の概要

議案第1号 令和元年度事業報告(案)及び収支決算報告(案)について

原案どおり承認可決しました。

事業実施状況については、新型コロナウイルスによる影響が若干ありましたが、ほぼ当初の計画どおりに進めることができました。

収支決算については、表1のとおりです。

議案第2号 理事・監事の任期満了に伴う選任について

役員は任期は2年で本総会をもって満了となるから、役員を選任を行い、原案どおり承認可決しました。

新たな役員については、下表のとおりです。

報告事項 令和2年度事業計画・収支予算について

事業計画及び収支予算について報告がありました。

事業計画については、基本的に従来から実施している事業をベースに策定しましたが、新型コロナウイルスの影響で事業の中止や変更を余儀なくされたものもあります。今後とも安全対策を十分取りながら事業を進めて参ります。

収支予算については、表2のとおりです。

一般社団法人北海道美術館協力会役員名簿

会 長	吉野 次郎	理 事	*石井 孝久	鹿内 正一	堀 利幸	監 事	*伊藤 文明
副 会 長	*吉田 洋一		石黒 勇治	戸井 敏夫	松平 英明		*安部 和彦
	和田 壬三		小沢 正晴	*坪内 弘樹	*安木 尚博		
	杉本 互		加藤 康夫	長峯 慰子			
専務理事	三原 和廣		小砂 憲一	名畑 節子			

*新任者
令和2年7月末現在

(表1) 令和元年度収支決算総括表 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	収 入 の 部			支 出 の 部			
	合 計	一 般 会 計	売 店 会 計	合 計	一 般 会 計	売 店 会 計	
基本財産運用収入	509	509	0	事業費支出	42,604,965	8,343,937	34,261,028
特別収入	28	28	0	管理費支出	7,383,340	7,383,340	0
会費収入	12,350,000	12,350,000	0	特定資産取得支出	2,000,028	2,000,028	0
事業収入	38,039,085	1,617,500	36,421,585	敷金・保証金支出	0	0	0
寄付金収入	0	0	0	他会計への繰入金支出	4,000,000	0	4,000,000
雑収入	187,228	35,534	151,694				
特定資産取崩収入	0	0	0				
他会計からの繰入金収入	4,000,000	4,000,000	0				
当期収入合計	54,576,850	18,003,571	36,573,279	当期支出合計	55,988,333	17,727,305	38,261,028
前期繰越収支差額	4,114,528	310,029	3,804,499	次期繰越収支差額	2,703,045	586,295	2,116,750
収入合計(B)	58,691,378	18,313,600	40,377,778	支出合計(B)	58,691,378	18,313,600	40,377,778
予算額(A)	49,312,428	17,750,806	31,561,622	予算額(A)	49,312,428	17,750,806	31,561,622
差異(A-B)	-9,378,950	-562,794	-8,816,156	差異(A-B)	-9,378,950	-562,794	-8,816,156

(表2) 令和2年度収支予算総括表 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

区分	収 入 の 部				支 出 の 部					
	科 目	予 算 額	前 年 予 算 額	差 異	備 考	科 目	予 算 額	前 年 予 算 額	差 異	備 考
一 般 会 計	基本財産運用収入	1,000	1,000	0	定期預金利息	事業費支出	8,512,512	7,805,784	706,728	V活動経費、会報、 会員観覧料等、 美術講座受講料、 うどい等経費
	特別収入	30	0	30		美術活動協力事業費支出	7,791,512	7,161,784	629,728	
	会費収入	14,498,000	13,765,000	733,000	法人、個人会員年会費	美術講座等開催事業費支出	665,000	588,000	77,000	
	事業収入	1,920,000	1,820,000	100,000	美術講座受講料、	40周年記念事業費支出	0	0	0	
	寄付金収入	0	0	0	普通預金利息	美術館研修観察事業費支出	0	0	0	
	雑収入	100	100	0		美術優秀制作活動等奨励費支出	56,000	56,000	0	
	他会計からの繰入金収入	0	2,000,000	-2,000,000		管理費支出	7,406,906	7,482,456	-75,550	
	当期収入合計	16,419,130	17,586,100	-1,166,970		当期支出合計	15,919,418	15,288,240	631,178	
	前期繰越収支差額	504,030	164,706	339,324		特定資産取得支出	0	2,000,000	-2,000,000	
	収入合計	16,923,160	17,750,806	-827,646		当期収支差額	499,712	297,860	201,852	
売 店 会 計	事業収入	25,375,000	28,000,000	-2,625,000	商品売上収入	事業費支出	25,224,321	27,413,561	-2,189,240	仕入費・借費等
	雑収入	180,100	240,100	-60,000	自動販売機手数料等	他会計への繰入金支出	0	2,000,000	-2,000,000	
	当期収入合計	25,555,100	28,240,100	-2,685,000		特定資産取得支出	0	0	0	
	前期繰越収支差額	594,823	3,321,522	-2,726,699		当期支出合計	25,224,321	29,413,561	-4,189,240	
	収入合計	26,149,923	31,561,622	-5,411,699		当期収支差額	330,779	-1,173,461	1,504,240	
総 計	43,073,083	49,312,428	-6,239,345		次期繰越収支差額	925,602	2,148,061	-1,222,459		
					支出合計	26,149,923	31,561,622	-5,411,699		
					総 計	43,073,083	49,312,428	-6,239,345		